

令和 7 年度

追加募集

茨城大学大学院人文社会科学研究科

入学試験問題

人文科学専攻

令和 7 年 度

茨城大学大学院人文社会科学研究科

追加募集

入学試験問題（専門科目）

試験科目

専攻 （ 人文科学 ）

コース （ 心理・人間科学 ）

専門領域（ 比較文化論 ）

試験区分 （ 一般 ）

問題冊子ページ数 1 ページ（表紙を除く）

解答用紙枚数 4 枚（問題冊子には綴じこまれていません）

人文科学専攻 入学試験問題（専門科目）

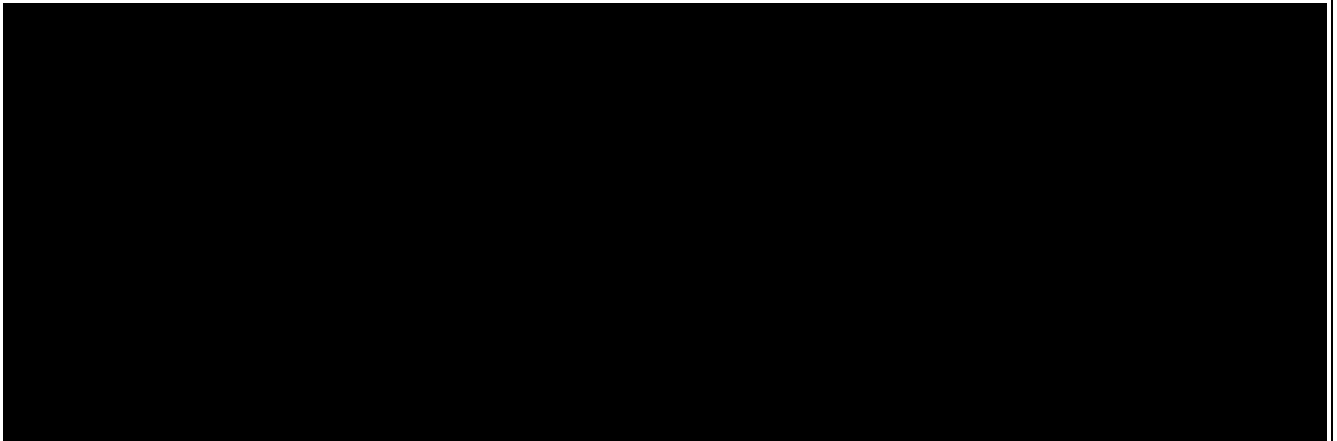
専門領域名（ 比較文化論 ）

＊ 1 問につき、1 枚の解答用紙を使用して解答すること。

【問1】 次の用語を説明しなさい。

1. 参与観察
2. エスノグラフィー
3. 厚い記述
4. 創られた伝統
5. 通過儀礼

【問2】 以下の文章の要点を解説しなさい。



Malinowski, B. *Argonauts of The Western Pacific*, 1922

以下の問いの中から 2 問を選択して解答しなさい。

【問3】 「社会進化主義」について、この考えが登場した背景に触れながら説明しなさい。

【問4】 「構造主義」について、この考えが登場した背景に触れながら説明しなさい。

【問5】 「社会に埋め込まれた経済」という考え方について説明しなさい。

【問6】 「オリエンタリズム批判」について説明しなさい。

【問7】 現在は「多様性の尊重」が重要だとされているが、なぜこのことが重要なのか（あるいは重要ではないか）について、「文化相対主義」という用語を使用し、実例を交えながら自身の考えを論じなさい。

令和 7 年度

茨城大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）

【追加募集】（専門科目）解答例

専 攻：（人文科学）

専門領域：（比較文化論）

試験区分：（一般）

問 1

- ・ 内容について端的な説明がなされているかどうか。
- ・ 代表的な論者が挙げられているかどうか。
- ・ 背景と今日的意義について端的に述べられているかどうか。

問 2

- ・ 大意の要約が示されているかどうか。
- ・ 「全体的理解」の意義が述べられているかどうか。
- ・ 「全体的理解」の対極にある研究態度を説明しているかどうか。

問 3～問 6

- ・ 出題意図に沿った解答がなされているか。
- ・ 解答に必要な専門用語、代表的論者の主張が適切に用いられているか。
- ・ 背景、意義、課題、限界が適切に説明されているかどうか。

問 7

- ・ 「文化相対主義」の説明が適切になされているかどうか。
- ・ 主張の根拠となる実例が適切に示されているか。
- ・ 思考の過程が論理的かどうか。